

議会 だより

平成29年
第1回定例会

発行 田原本町議会
編集 議会編集委員会

平成29年田原本町議会「第1回定例会」が3月6日から16日まで11日間の日程で開かれました。開会日の3月6日には地域子育て支援拠点事業の実態等に係る調査特別委員会より中間報告が行われました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告

公共下水道事業に係る工事請負契約の変更契約1件の報告

《承認した案件》

○平成28年度田原本町一般会計補正予算(第5号)の専決処分の報告(全員賛成)

清掃工場の故障に伴い、ごみ処理経費を増額補正するもの

○田原本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告(全員賛成)

項番号の誤り部分の改正を行うもの

《可決した案件》

○平成29年度各会計当初予算

予算審査特別委員会を設置し、審査しました。予算の概要は広報4月号をご覧ください。

○平成28年度田原本町一般会計補正予算(第6号)(賛成多数)

臨時福祉給付金事業の国補助金交付決定に伴う減額、健康管理システム改修による増額、公共下水道事業特別会計への繰出、幼稚園園舎地震補強工事と工事監理に伴う増額等をするもの

○平成28年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(全員賛成)

予算規模に変更はなく、歳入区分を変更し調整を図るもの

○平成28年度田原本町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)(全員賛成)

消費税額の確定に伴う公課費及び流域下水道維持管理負担金の減額、借入金額及び利率の減に伴う公債費の減額等をするもの

○平成28年度田原本町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(賛成多数)

広域連合への保険料納付金及びび還付金の増額等をするもの

○田原本町犯罪被害者等支援条例(全員賛成)

犯罪被害者等の被害の早期回復及び軽減を図り、犯罪被害者等を支える地域社会の形成に寄与するため、新たに制定するもの

○田原本町いじめ問題対策連絡協議会等条例(全員賛成)

「田原本町いじめ防止基本方針」策定に伴い、関係条例2つを廃止し、新たに「田原本町いじめ問題対策連絡協議会等」の機能を加え制定するもの

もの

○田原本町行政組織条例の一部を改正する条例(全員賛成)

新たに町長公室を設け、総合政策課、人事課、広報課を総務部から町長公室に移す改正を行うもの

○田原本町個人情報保護条例等の一部を改正する条例(賛成多数)

番号法の改正で規定された、町の独自利用事務における情報提供ネットワークシステムを用いた特定個人情報等の情報連携について、町個人情報保護条例及び関連条例について所要の改正を行うもの

○田原本町附属機関に関する条例の一部を改正する条例(全員賛成)

プロポーザル審査委員会、田原本

《緊急動議》

3月6日の本会議において以下の動議が提出され、賛成多数で可決されました。「地域子育て支援拠点事業の実態と町幹部の関与についての調査の調査項目の追加等に関する動議」

概要	提出議員
平成28年12月8日に議決した、地域子育て支援拠点事業の実態と町幹部の関与についての調査に関する動議に、調査項目の追加等を行うもの。	竹邑利文議員

《採択とした意見書の概要》

本定例会で採択とした意見書は以下のとおりで、関係団体へ提出しました。

意見書	提出議員
「介護保険制度の見直し」を求める意見書(賛成多数)	吉田容工議員

《不採択とした意見書の概要》

意見書	提出議員
「テロ等組織犯罪準備罪」(共謀罪)新設に反対する意見書(賛成少数)	吉田容工議員
際限ない年金減額ストップで若者も高齢者も安心できる年金制度の改善を求める意見書(賛成少数)	吉田容工議員
無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書(賛成少数)	松本美也子議員

町地域福祉計画策定委員会を附属機関として新設するもの

○職員の仕事時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

働きながら育児や介護がしやすい環境整備をさらに進め、また、被虐待児童への自立支援の強化を図るため改正を行うもの

○田原本町介護保険条例の一部を改正する条例（全員多数）

消費税率10%の引き上げが平成31年10月に延期されたことを受け、介護保険法施行令第38条第1項第1号に掲げる者の保険料率に関し、所要の改正を行うもの

○田原本町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（全員賛成）

介護保険法等の改正に伴い、小規模な通所介護が地域密着型サービスに位置づけられたことにより指定基準を定める等の改正を行うもの

○田原本町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

西川 六男 議長

定例会初日には、石本前副町長の収賄容疑での逮捕を受け、先の議会に引き続き、再度、事件の再発防止等に取組むよう町長に申し入れました。この様な不祥事が続くことは誠に遺憾であります。地域子育て支援拠点事業の実態等に係る調査特別委員会の中間報告を行い、その後動議の提出があり、当委員会での調査項目の追加、委員会の名称変更が可決されました。

さて、本定例会では、平成29年度予算案など同意案件も含め29件の議案が上程され、また、7名の議員から一般質問があり活発な討論が行われました。

植田 昌孝 議員

今期定例会では愛和会の事件にも関連する補助金交付とその関連事項について一般質問しました。職員の意識改革、補助金等の交付要綱の見

条例（全員賛成）

介護保険法等の改正に伴い、介護予防認知症対応型通所介護につき運営推進会議の設置を定める等の改正を行うもの

○田原本町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

不燃用指定ごみ袋20リットル用を追加する改正を行うもの

○田原本町道路線の認定及び廃止について（全員賛成）

町道8路線の認定と1路線の廃止をするもの

○天理市、山添村、川西町、三宅町及び田原本町一般廃棄物の処理事務委託に関する規約の変更について（全員賛成）

新清掃工場での一般廃棄物の処理開始に伴い、天理市への事務委託が必要でなくなることから、規約変更の協議を行うため、議会の議決を求めるもの

○やまと広域環境衛生事務組合規約の変更について（全員賛成）

組合の事務所の位置変更に伴い、所要の変更を行うもの

《同意した人事案件》

○教育委員会の教育長の任命につき議会の同意を求めることについて 氏名 植島幹雄氏

任期 平成29年4月1日から

平成32年3月31日

○固定資産評価員の選任につき議会の同意を求めることについて 氏名 持田尚顕氏

任期 平成29年3月6日から

中間報告



○地域子育て支援拠点事業の実態等に係る調査特別委員会中間報告

平成28年12月の委員会設置以降の活動経過について報告。報告内容の全文を町ホームページに掲載しています。

各委員会審査の状況 （質疑から抜粋）



《総務文教委員会》

質問 平成28年度田原本町一般会計補正予算（第6号）について、幼稚園の耐震工事の実施時期は。

回答 平成29年度の夏休みに南幼稚園の耐震工事を実施。平成29年度当初予算で田原本幼稚園と平野幼稚園の実設計委託料を予算計上し、工事は翌年度実施予定である。

経過報告 「中学校給食の早期実施を求める請願」の経過について、平成31年度の2学期実施予定である旨

の報告を受けた。

《厚生建設委員会》

質問 田原本町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について、不燃用指定ごみ袋（20リットル）はいつから利用できるか。

回答 ゴミ袋の製造、販売、周知期間等から平成29年9月1日開始を予定している。

《唐古鍵遺跡整備検討特別委員会》

質問 平成28年度田原本町一般会計補正予算（第6号）について、平成30年4月の開園は可能か。

回答 国・県の補助金も全額交付の対応を見込んでおり、平成29年度の事業完了を予定している。

《清掃工場建設検討特別委員会》

担当課から報告 新ごみ処理施設の進捗状況については、3月1日に施設の建築確認検査が実施され、2日には検査済み証の交付、7日に機械設備の火入れが行われ、13日から可燃ごみの試験搬入が実施されている旨の報告を受けた。

審議内容を見ることができません

町ホームページに、本会議の会議録を掲載しています。

直し、決裁規程の見直し、又今後の具体的な対応策などについて質問し、適正な会計処理やコンプライアンスについて等の職員研修の実施、補助金交付のチェック体制については「補助金等適正執行委員会」所謂「第三者委員会」からの答申をもとに改善策を講じたいとの回答を得ました。又前副町長の逮捕についても言及しましたが捜査中であるとの事で明確な回答はありませんでした。

松本 美也子 議員

一般質問にて、①高齢や障がいなどの理由により、所定のゴミ置き場へのゴミ出しが困難な世帯に、見守りも兼ね、係員が玄関先でゴミ収集を行う「ふれあい収集」事業の導入について②国の2018年度から未就学児までを対象とする減額調整措置の廃止決定に伴い、こども医療費の窓口負担無料化に向けた検討について③日頃からの地域のつながりと備えが減災に繋がるとの観点から、避難所運営ゲーム（HUG）を活用した住民による避難所運営マニュアルの策定及び避難所ごとの避難訓練の実施についてを質問しました。

小走 善秀 議員

子供の遊び場環境整備について、予算成立前に既に、図書館と弥生の

里ホールの間の中庭に遊具等を設置する計画がある様で、読書の場の目前で子供が大声で遊ぶのは不適當で、中庭の緑も必要と意見し、ここには作らない旨の回答を得た。

田原本幼稚園進入路整備について、預かり保育等送迎も必要で、道路も狭く危険であることから、駐車場用地を確保するよう要望した。

テロ等組織犯罪準備罪新設に反対する意見書案が提出されたが、東京オリンピックを控え、テロを未然に抑止するためにも必要と反対討論し否決された。

吉川 博一 議員

唐古・鍵遺跡史跡公園活用方針（案）が示されました。目標は『唐古・鍵遺跡の「弥生力」を地域文化として活かす公園』とされ、「弥生力」を地域ブランドとして醸成し、地域に根差した公園を目指すとの説明を受けました。史跡公園の整備も大詰めを迎え、現在、遺構展示情報館を施工中であり、来年度、弥生の建物広場などの整備を行い、30年春に道の駅と同時オープンされる予定です。両施設へ行き来するには国道を渡らなければならず、交通安全に十分配慮したいものです。

牟田 和正 議員

予算審査特別委員会の委員に選任され新年度予算の審査に加わりました。コンサルタントへの業務委託について、業務委託は、民間の知識・技術・ノウハウの活用やコスト削減が見込めますが、町の計画・方針の策定するような業務の委託は、業者の意向が強く反映され、住民や職員の参画が不十分となり、地域の実情に即した計画・方針策定に繋がらず、長期・継続的に町の損失となる恐れがあります。

阪東 吉三郎 議員

町の計画・方針の決定は住民・町の職員中心で行うことは大原則であり、安易に業務委託を行わないことを強く求めました。

副町長等主要職の長期不在は行政の停滞を招き危機管理の面からも避けるべきで、有能で本町に愛情を抱き地域の实情に明るい人選が必要と考え、町の人事方針について一般質問を行った。次に人口減少対策について質問し、平成29年度では子育て世代への包括支援センターの開設、不妊治療・妊婦検診助成の拡充、幼稚園預かり保育モデル事業の拡大、定住促進に向けた住宅取得・リフォームの助成、防災担当課の設置、住民参加型WEB版ハザードマップの構築、被災者支援システムの導入

等の新規事業に取り組むとの回答を得た。

森井 基容 議員

本年4月1日より大小に関わらず社会福祉法人に対し、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性向上等を求める社会福祉法の大改正が行われました。

愛和会の問題や介護施設等との関連で一般質問をさせていただきました。本町には町予算と関係する法人数が107あり、不適格法人とならぬよう県と協力していること、保育や介護等のサービスを受けておられる方々が不利益を被らぬよう取り組んでいるとのことでした。また、愛和会については改正に対応した新定款が策定されたとのことでした。

安田 喜代一 議員

議会では、3月末で任期満了の片倉教育長の後任人事が同意されました。地方自治法では、町の特に重要な人事に関して議会の同意が必要と規定されていますが、町の三役である副町長不在の状態が続いています。今回、町長公室を設け行政の効率的な運営に取組む目的で行政組織条例の一部改正条例が提出され可決されました。町は行政課題の解決に向け、新年度予算でも多くの新規事業経費

を計上し、改善に取り組む方針ですが、事業の実施には人材の育成、人材活用に向けた組織の体制づくりも重要です。

森 良子 議員

一般質問で、「地域医療について」質問しました。町内には医療施設が多くあるが北・東校区は極端に少なく、地域の方々には困っておられる。公的支援により、医療施設を増やす考えはあるのか、また、車の運転ができない方の通院に「ももたろう号」を充実させる考えはとの問いに、医療施設設置の推進は考えていない、往診の周知を図り、「ももたろう号」はアンケートを実施しサービスを見直したい、4月から開始の駅から国保中央病院までのシャトルバスの運行ルートも需要が増えれば拡大したいとの答弁でした。

古立 憲昭 議員

予算審査特別委員会にて、不祥事が多発しており、残念ながら綱紀粛正がなかなか出来ていない。今回の問題を契機に徹底的に改革し住民の信頼回復に向け、チェック体制の強化、外部監査の導入の取組みについて問いました。

中学校給食が遅くとも平成31年度から開始される。そこで子育て支援

の充実、家庭の負担減、人口減少の防止、学校教職員の負担軽減などメリットが多いことから小中学校の給食無料化について、学校の洋式トイレへの早期改修、また、防災・観光に資するWi-Fiの充実について問いました。

竹邑 利文 議員

糸魚川市大火にて田原本駅東側等の住宅密集地の消防力の充実について、また、町民の生命財産を火災や災害から守る為には、危機管理体制の強化が必要と考え担当課の新設について質し、4月より新設するとの回答を得た。

小学校の進路指導について質し、「中一ギャップ」等、進学に伴う環境変化に対応できるように、児童から生徒への学びの違いを指導していくと答弁を得た。次期学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が目玉とされる。特に外国語教育の導入に当たっては円滑な実施に向け計画的に進めてもらいたい。

辻 一夫 議員

先の議会で設置された地域子育て支援拠点事業の実態等に係る調査特別委員会の中間報告を行い、併せて再発防止策の具現化、職員の意識向上、住民の信頼回復に努めるよう強

く求めました。

また、2月末の石本前副町長の逮捕を受け「地域子育て支援拠点事業の実態と町幹部の関与についての調査の調査項目の追加等に関する動議」が提出・可決され調査項目の追加、委員会の名称が変更となりました。原因究明、責任の所在の明確化、再発防止策の検討等を行い、町の事務改善に取り組んで参ります。

吉田 容工 議員

一般質問で、愛和会の町への接待について質しました。町長の返事は「捜査に関わる内容と思われ、答弁は差し控えさせていただきます」とお父さんか、前副町長に気を使ったような答弁でした。さらに追及すると「10年程前、前副町長とゴルフをした」と答弁がありました。次に、予算審査特別委員会で、保育行政に不信が広がっていることを指摘しました。愛和会の理事をされていたことは経営に参画されていたことを意味し、責任は逃れられない。当事者として町民に説明責任を果たすことを求めました。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、6月上旬に開催します。

☎ 議会事務局 (☎34・2119)